

# シリーズ 下水道探訪

東京の足元を流れる下水道は、様々な顔を持っています。  
ここでは、下水道に関するいろいろな施設や取組をシリーズでご案内しています。

東京の地下には下水道管が縦横に走っており、その長さは23区だけで約15,800kmにもなります。  
下水道管には、ゴミや土砂が自然にたまり、放置しておく、下水の流れを妨げたり、悪臭を発生させたり、大雨の時には下水をあふれさせるおそれがあります。快適な都市機能を支えていくためには、下水道管の定期的な清掃は欠かせません。

今回は昔懐かしい車両による清掃作業場面をご紹介します。



撮影年度不明 東京都水道局下水部時代の作業車



撮影年度不明



撮影:1974年



撮影:1978年



撮影:1980年

### 【下水道管内清掃作業】



撮影:1956年



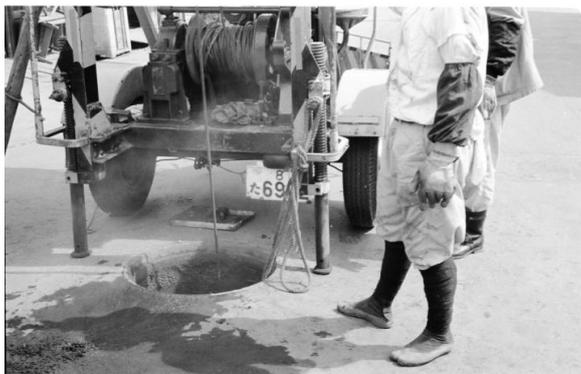
撮影:1956年



撮影:1962年



撮影:1962年



撮影:1962年



今回は地上部の作業風景をご紹介しますが、地下の下水道管の中に人が入り作業をすることもあります。下水道管の中で泥等を集め、バケツに入れて地上に引き上げます。

●バケツにも色々な種類があったんだね。



人の力だけでも清掃をしていました。



撮影:1962年

●竹の棒を使って溜まった泥を掻き出しています。

●右の写真では竹の棒を何本も継ぎ足して作業しています。



撮影:1963年